



麻布幼稚園だより 2月号

令和2年1月31日 港区立麻布幼稚園 園長 藤田 智子

学年末に向けて



園長 藤田 智子

1月30日、年長組・年中組の子どもたちは、高輪区民館で行われた港区主催の観劇会に参加しました。人形劇団プークによる子どもたちを惹きつける内容はもちろんのこと、劇団の方のメリハリのある声や動き、背景のセットや音響にも子どもたちは興味をもち、それぞれにイメージを広げながら鑑賞していました。途中、迫力のある物語の展開や人形の動きに圧倒される場面もありましたが、物語の世界を味わうよい機会となりました。

幼稚園の教育活動において、学級のみならず共通の体験をすること、そしてそれを自分たちの活動に生かしていくことは、とても有意義な経験です。今回の観劇会での経験は、2月に行われるこども会に生かしていく予定です。観劇会の劇の内容をそのまま自分たちの劇に反映するわけではありませんが、観劇する中で刺激を受け吸収した要素を、自分たちの今までの経験と合わせ、新たな形でそれぞれの学級の劇を作り上げていきます。

一年間の集大成ともいえる行事であるこども会に向けて、今、各学級では、これまでの幼稚園生活の中で培ってきた様々な力を活用し、それぞれの力を発揮しながら取組みを進めています。年長組では、友達との相談や協力、役に必要なものを作る技能、みんなの前で自信をもって話す力など、経験を積み重ねてきたことを活用しながら、学級のみならず力を合わせて取り組んでいきます。学級の劇をよりよいものにするためにアイデアを出し合いながら進め、それぞれにやり遂げた満足感が味わえるようにしていきたいと思います。年中組では、繰り返しのある物語の中で、ストーリーに沿った動きを楽しめるようにしながら、それぞれの役ごとに取組む要素も加え、学級のみならず劇遊びをする楽しさが味わえるようにしていきます。年少組では、パネルシアターや読み聞かせで楽しんだ物語に、子どもたちがより興味をもてるような要素を加え、役になりきって動く楽しさが感じられるようにしていきます。

こども会が終わると、年長組は進学へ、年中組・年少組は進級へと、次のステップに移行する準備の期間に入ります。年長組は、今まで自分たちがリードしてきた活動や行事を年中組に引き継いでいきます。年中組は、当番活動や誕生会など、年長組にやり方を教えてもらいながら一緒に経験し、3月には自分たちで行えるようにしていきます。年少組は、年中組になる準備をしながら、新しい年少組を迎え入れる準備も行っています。1月に実施した、次年度の年少組が幼稚園生活を体験する『体験入園』では、いつもは一番小さい学年である現年少組の子どもたちも、年長組・年中組と一緒にお兄さんお姉さんとして小さい友達を迎えました。進級への意識が芽生えるよいきっかけになりました。

2月、3月は、それぞれの学年が新たなスタートに向けて今まで積み上げてきた経験や力を発揮する時期です。子どもたちの心の成長を一緒に応援し、見守っていきましょう。

2月の麻布幼稚園もどうぞよろしくお願いいたします。

